

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	主催団体	行事形式(※)	行事名
G010	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)	④	Internet Week ショーケース in 奈良
開催日	開催場所	行事参加人数	Webサイト・URL
7月2日、3日	奈良市ならまちセンター	1日目 現地:74名 オンライン:124名 2日目 現地:66名 オンライン:144名	https://internetweek.jp/sc-nara/

行事実施概要・アピール等

Internet Weekのショーケースは毎年11月に東京で開催したInternet Weekのプログラムよりいくつかを厳選し、2日間に再構成したものを、東京以外の地域で開催・無料でお届けしています。特に通常のInternet Weekへのご参加が難しい方へのチュートリアルや最新技術情報の提供、議論と課題解決/交流の場の提供を目指しています。また、奈良での現地参加だけでなく、Zoomを用いてオンライン配信も行いました。

2日間でIPv6からDNS、L1、セキュリティ動向、Abuseなど多岐にわたるテーマの最新動向が発表されました。また、会場では、関西の学生を中心としたNOCチーム「Team Shirankedō」が会場ネットワークの構築・運用を担いました。

イベント全体への満足度として、「非常に満足(71%)」「まあまあ満足(28%)」と回答した方の合計が99%となり、多くの参加者に役立つプログラムをお届けできたのではないかと考えています。

今回のイベントでは、関西地域の方に多く現地参加いただき、議論や意見交換も活発に行われました。また、オンライン配信を行ったことにより、様々な地域の方にご参加いただきました。本イベントを通して、多くのエンジニアに役に立つ技術解説や最新動向をお届けすることができました。



▶▶ 廃止→ドロップキャッチの騒ぎが繰り返される理由

価値のあるドメイン名の廃止
ドメイン名を長期的に利用するという意識の欠如
うっかり失効などの管理ミス
廃止されたドメイン名は再利用されるという認識の不足

ドロップキャッチする側の心理
実績があるドメイン名が持つ金銭的価値
ドメイン名の先願主義の原則
登録時に事前の審査がほぼない

そもそも論
ドロップキャッチ自体は禁止されていない
ドメイン名オークション自体も同様

JPNIC

Copyright © 2020 Japan Network Information Center 8

